

**議案第 85 号 鎌倉市常勤特別職職員の給与の臨時特例に関する条例の制定** について、神奈川ネットを代表し、賛成の立場ではありますが、申し添えることがあり討論致します。

12月22日の全員協議会において、不適切な事務処理について、3人の検証専門員による検証およびその後の取組みを踏まえた検証結果と、不適切な事務処理に関わった職員述べ47人の懲戒処分と行政措置処分の報告がなされました。市長、副市長、教育長の給与を減額する本件議案は、これを受けたものです。

不適切な事務処理として調査委員会を設けて内部調査を行った事案のうち、有効期限切れワクチンを使用した予防接種事務と白紙請求書を使用した事務については、既に最終調査結果が取りまとめられましたが、生活保護費が盗まれた問題と窓口等において収納金等が不適切に取り扱われてきた問題については、中間報告取りまとめ後も、さらに検証の精度をあげる必要があったことから、3名の外部の検証専門員を設置して、追加調査への助言と再発防止に向けた意見を出してもらったとのことです。

その結果が今回報告された訳ですが、生活保護費支給事務については、「公金の亡失は（職員による犯行であることを裏付ける証拠も見当たらず）あくまで杜撰な管理の積み重ねや管理マネジメントの不足に起因するものであることが推定される」という意見が検証専門員から出されたことが報告され、「今後、さらに調査を実施しても、確固たる証拠が出てきたり、新たな供述が得られない限り、これ以上の成果は期待できないとの見解を得た」とまとめられています。

検証結果の報告の中で、私はこのくたりに一番重く受けとめています。

経理上の不当操作を行うことで組織内に裏金をプールさせることは、かつては多くの自治体の内部で行われていました。弁護士、税理士、市民からなる市民オンブズマンの全国連絡会議がその実態を大規模にあばいて是正をさせたのは、今からもう20年も前のことです。しかし、その後も組織的な裏金工作は一掃された訳ではなく、比較的近いところでは、2010年末に、白紙伝票の悪用で総額で2億円を超えるパソコンなどの物品を不正購入していたことが発覚した神戸市で800人近い職員が処分されています。

鎌倉市の事案が裏金づくりにあたると言っている訳ではありませんが、組織的な関与あるいは組織的な隠ぺいというものがあるとすれば、それは裏金作りと根っこを同じくしているものであり、看過できない、ということです。

不適切な事務処理と市が位置づけて再発防止に取り組んでいる4つの事案のうち、生活保護費支給事務は、他の3つに比べてずっと深刻な事案です。しかし、これについて、今回出された検証結果では、**組織的な関与あるいは組織的な隠ぺい**がなされているのかがどうかグレー・ゾーンのままだです。検証結果を読めば、ない、と言っているのに等しいのですが、「ない」ことの証拠が示されておらず、今後も示されないであろうことがハッキリしてきました。

検証専門員を設置してチェックを委ねたことは、タイミング的には遅きに失した感はあるものの、市の取組み姿勢としては評価します。また、生活保護費が受給者に間違いなく支給されていたかを確認する調査を、多数の受給者、元受給者を対象に訪問や電話、またケース記録やシステムデータの点検により行ったのは、大きな労力であったと推察します。

今回の処分に関わる条例改正議案は、「責任者が管理監督責任を果たせなかった非を認めて責任を明らかにする」という意味において、また、「再発防止に向けた姿勢の表れ」と捉え、賛成は致します。しかし、これは一区切りに過ぎません。検証結果は肝心の点がグレイ・ゾーンであるため、議会全員協議会でも了承できず「聞き置く」の状態です。このままだと生活保護費が無くなった事実だけがずうっと残り、鎌倉市役所への信頼は取り戻せないままになります。

問題解決には市役所内の自浄作用を如何にはたらせるかということに尽きます。今後の取組を注視させていただきます。